

平成22年10月期 第1四半期決算短信

平成22年3月12日

上場取引所 大

上場会社名 小林産業株式会社

コード番号 8077 URL <http://www.kobayashi-metals.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 井口 和郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 松井 直樹

TEL 06-6535-3690

四半期報告書提出予定日 平成22年3月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年10月期第1四半期の連結業績(平成21年11月1日～平成22年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年10月期第1四半期	3,861	△22.2	112	△50.2	97	8.4	166	—
21年10月期第1四半期	4,966	—	226	—	90	—	13	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年10月期第1四半期	5.98	—
21年10月期第1四半期	0.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年10月期第1四半期	15,948	6,949	43.3	247.73
21年10月期	16,054	6,905	42.7	246.14

(参考) 自己資本 22年10月期第1四半期 6,905百万円 21年10月期 6,861百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年10月期	—	2.50	—	2.50	5.00
22年10月期	—	—	—	—	—
22年10月期 (予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年10月期の連結業績予想(平成21年11月1日～平成22年10月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	8,600	△6.8	160	△48.7	200	△46.9	120	—	4.30
連結累計期間	17,500	2.9	370	△15.1	450	5.1	270	—	9.69

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年10月期第1四半期	28,007,448株	21年10月期	28,007,448株
② 期末自己株式数	22年10月期第1四半期	130,663株	21年10月期	130,609株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年10月期第1四半期	27,876,821株	21年10月期第1四半期	27,878,442株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間（平成21年11月1日～平成22年1月31日）におけるわが国経済は、輸出の回復、在庫調整の一巡により企業収益に持ち直しの動きが見られたものの、設備投資・雇用情勢の低迷、個人消費の不振などから低調に推移しました。

このような状況の下、当企業集団は、顧客ニーズの対応として新規在庫商品の拡大を進めるとともに、東大阪商品センターの物流作業効率化を図る設備投資を行い、企業収益向上に努めました。しかしながら、当第1四半期においては厳しい展開となりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は3,861百万円（前年同四半期比22.2%減）、営業利益は112百万円（前年同四半期比50.2%減）、経常利益は97百万円（前年同四半期比8.4%増）、法人税等調整額がマイナス計上となったため当四半期純利益は、166百万円（前年同四半期13百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況について

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて435百万円増加し10,430百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が80百万円増加、受取手形及び売掛金が123百万円増加および商品が160百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて541百万円減少し5,517百万円となりました。この主な要因は、土地の売却による460百万円減少および投資有価証券が87百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて77百万円減少し8,323百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が100百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて71百万円減少し676百万円となりました。この主な要因は、繰延税金負債が48百万円減少および長期未払金が12百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて43百万円増加し6,949百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が97百万円の増加に対し、その他有価証券評価差額金が51百万円減少したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況について

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローに係る支出203百万円、投資活動によるキャッシュ・フローに係る収入455百万円、財務活動によるキャッシュ・フローに係る支出169百万円となったこと等により、前連結会計年度末と比べ80百万円増加し、3,049百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は、203百万円となりました（前年同四半期は177百万円支出）。主な要因は、売上債権の増加額109百万円およびたな卸資産の増加160百万円に対し、仕入債務の増加額67百万円によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は、455百万円となりました（前年同四半期は9百万円支出）。主な要因は、有形固定資産の売却による収入460百万円によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、169百万円となりました（前年同四半期は197百万円支出）。主な要因は、短期借入金の返済による支出100百万円および配当金の支払額69百万円の支出によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年12月14日に公表しました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分し算定する方法によっております。

②たな卸資産については、当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関し実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めておりました「為替差損」は、営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第1四半期連結累計期間より区分掲記することといたしました。なお、前第1四半期連結累計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「為替差損」は、24,616千円であります。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,049,806	2,969,523
受取手形及び売掛金	5,370,157	5,246,878
商品	1,563,148	1,402,441
その他	486,815	409,321
貸倒引当金	△39,439	△33,134
流動資産合計	10,430,488	9,995,030
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	958,808	972,925
機械装置及び運搬具(純額)	35,991	16,041
土地	2,088,302	2,548,302
その他(純額)	33,595	30,248
有形固定資産合計	3,116,698	3,567,517
無形固定資産		
	32,544	32,812
投資その他の資産		
投資有価証券	2,291,394	2,379,134
破産更生債権等	74,607	88,645
その他	81,135	83,604
貸倒引当金	△78,417	△92,455
投資その他の資産合計	2,368,720	2,458,929
固定資産合計	5,517,963	6,059,260
資産合計	15,948,451	16,054,290
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,344,107	4,253,839
短期借入金	2,000,000	2,100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,500,000	1,500,000
賞与引当金	61,971	128,055
その他	417,270	418,991
流動負債合計	8,323,349	8,400,885
固定負債		
繰延税金負債	396,524	445,230
退職給付引当金	217,734	226,457
長期未払金	45,540	57,610
その他	16,261	18,341
固定負債合計	676,059	747,638
負債合計	8,999,408	9,148,524

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,712,335	2,712,335
資本剰余金	1,728,146	1,728,146
利益剰余金	1,935,666	1,838,580
自己株式	△24,463	△24,455
株主資本合計	6,351,685	6,254,607
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	571,536	623,470
繰延ヘッジ損益	△1,093	△1,270
為替換算調整勘定	△16,151	△15,191
評価・換算差額等合計	554,292	607,008
少数株主持分	43,066	44,149
純資産合計	6,949,043	6,905,766
負債純資産合計	15,948,451	16,054,290

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年1月31日)
売上高	4,966,140	3,861,631
売上原価	3,818,117	2,898,198
売上総利益	1,148,023	963,433
販売費及び一般管理費	921,750	850,745
営業利益	226,272	112,688
営業外収益		
受取利息	25	19
受取配当金	3,936	2,361
受取賃貸料	11,438	10,352
助成金収入	8,001	—
その他	2,312	7,089
営業外収益合計	25,714	19,823
営業外費用		
支払利息	17,608	13,002
デリバティブ評価損	109,151	7,272
為替差損	—	10,394
その他	34,972	4,044
営業外費用合計	161,732	34,714
経常利益	90,254	97,796
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	1,620	—
役員退職慰労引当金戻入額	10,830	—
特別利益合計	12,450	—
特別損失		
投資有価証券評価損	48,840	—
特別損失合計	48,840	—
税金等調整前四半期純利益	53,864	97,796
法人税、住民税及び事業税	2,921	25,386
法人税等調整額	34,305	△94,391
法人税等合計	37,226	△69,005
少数株主利益	3,386	23
四半期純利益	13,251	166,777

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	53,864	97,796
減価償却費	19,941	20,222
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△4,910	△8,722
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△63,020	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,398	△7,733
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,000	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△99,507	△66,084
受取利息及び受取配当金	△3,962	△2,381
支払利息	17,608	13,002
持分法による投資損益(△は益)	△44	—
投資有価証券評価損益(△は益)	48,840	—
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	△1,620	—
売上債権の増減額(△は増加)	906,505	△109,576
たな卸資産の増減額(△は増加)	△60,348	△160,706
その他の流動資産の増減額(△は増加)	16,693	△9,200
仕入債務の増減額(△は減少)	△765,095	67,839
デリバティブ評価損益(△は益)	109,151	7,272
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△62,007	△3,639
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△12,070
負ののれん償却額	△2,080	△2,080
小計	88,408	△176,059
利息及び配当金の受取額	3,939	2,381
利息の支払額	△9,607	△10,925
法人税等の支払額	△260,278	△19,221
営業活動によるキャッシュ・フロー	△177,537	△203,825
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△314	—
有形固定資産の売却による収入	—	460,000
有形固定資産の取得による支出	△12,904	△5,500
無形固定資産の取得による支出	—	△1,498
ゴルフ会員権の売却による収入	2,300	—
投資その他の資産の増減額(△は増加)	1,000	2,359
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,918	455,360
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△100,000	△100,000
自己株式の取得による支出	△170	△8
配当金の支払額	△97,575	△69,692
財務活動によるキャッシュ・フロー	△197,745	△169,700
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,384	△1,551
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△391,585	80,283
現金及び現金同等物の期首残高	2,356,201	2,969,523
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,964,616	3,049,806

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

①事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)

鉄鋼材の卸売およびこれに附帯する事業を営む単一事業につき、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年11月1日 至 平成22年1月31日)

鉄鋼材の卸売およびこれに附帯する事業を営む単一事業につき、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

②所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、記載しておりません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年11月1日 至 平成22年1月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、記載しておりません。

③海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高は記載しておりません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年11月1日 至 平成22年1月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高は記載しておりません。

(6) 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。